

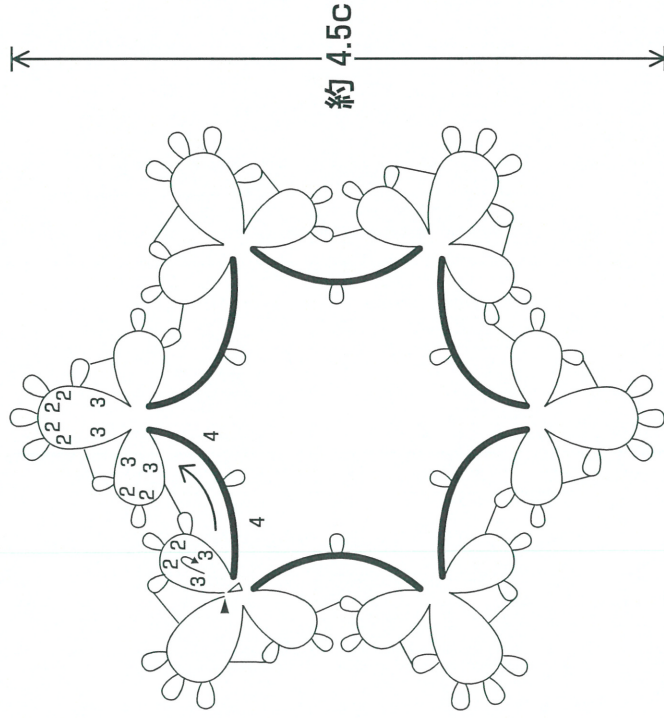
オリムパス タティングレース糸

タティングレースの花モチーフ

デザイン/オリムパスデザイン室

- 材 料/ タティングレース糸<中> (40m玉巻) 約10m = 1玉
- 用意するもの/ タティングシャトル・・・1個
手芸用接着剤、とじ針
- できあがり寸法/ 約 縦4.5cm×横4cm
- 編み方要点/ 図を参照してモチーフを作ります。編み終わりの糸端は20cm残して切り、とじ針に通します。
最初のリングの編み始めに表から糸を通しシャトルの糸とこま結びをします。糸端を3mm残して切り、裏側に手芸用接着剤でとめつけます。

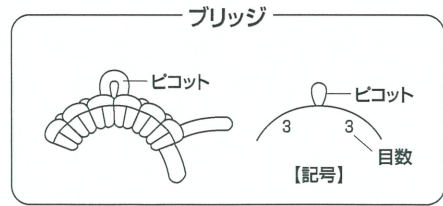
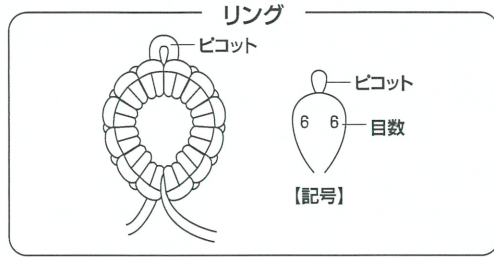
実物大見本



編図記号の見方

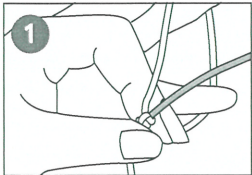
- ...リング(細い線) ○ ...ピコット
- ...ブリッジ(太い線) ◯ ...ピコットにつなぐ
- ◁ ...スタート ◀ ...編み終わり
- ...矢印の方向に進む

作り方の基本

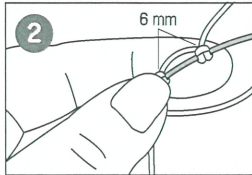


1 ピコットの作り方 ピコットは装飾だけでなく、つなぎにも使います。

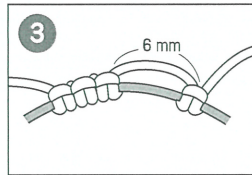
いろいろなサイズのピコットを作ることができますが、ここでは3mmのピコットを作る場合の説明をします。



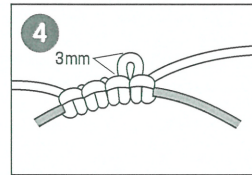
ピコットを作る位置まで必要な目数を編み、親指で押さえます。



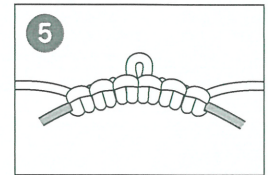
先に編んだ目から6mm離して次の1目を編みます。



離れた目を先に編んだ目の隣まで移動させます。

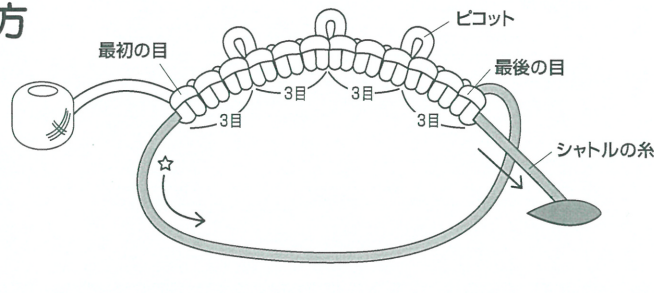
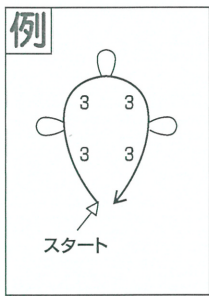


約3mmのピコットが出来ました。



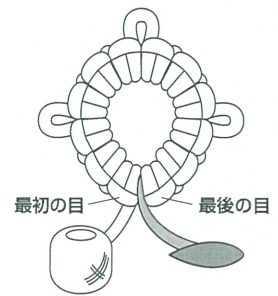
続けて次の目を編んでいきます。

2 リングの作り方



1 基本の編み方と1のピコットの作り方を参照して図のように「3目、ピコット、3目、ピコット、3目、ピコット、3目」編みます。

2 最後の編み目を左手で押さえ、シャトルの糸を引きます。



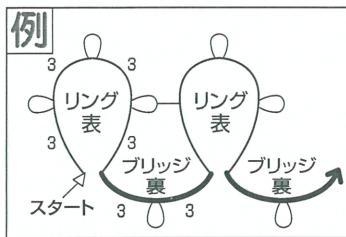
3 リングの出来上がりです。

ポイント1

途中で左手にかけた糸の輪が小さくなった場合

リングを作っていると左手にかけた糸の輪が、だんだん小さくなっていきます。編みづらくなってきたら、輪の手前下側の糸を下側(上図☆を矢印の方)に引くと、輪が大きくなります。

3 リバース・ワーク (リングの次に続いてブリッジを編むとき等に使います。上下を逆に持ちかえます。)



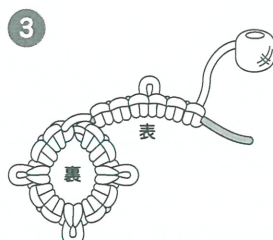
リングやブリッジは、上向きの弧を描いています。左図のようにブリッジの弧を下向きにする場合、作り終えたリングを下向きに裏返し、次のブリッジを編みます。



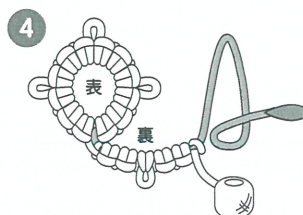
1 つめのリングを編みます。



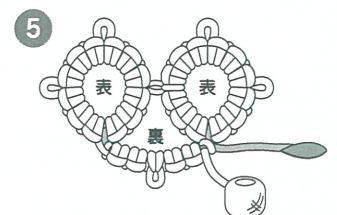
2 リングを下向きに裏返し、糸玉につながった糸を左手にかけます。



ブリッジを編みます。



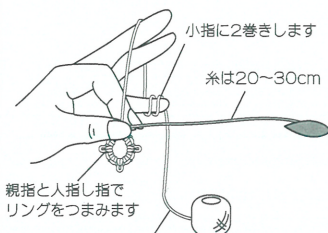
リングを上向きに表に返し、シャトルにつながった糸を輪にして左手にかけます。



2つめのリングを編みます。ピコットのつなぎ方は4ピコットのつなぎ方 1～5と同じです。

ポイント2

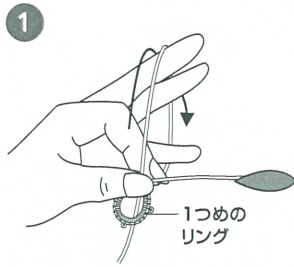
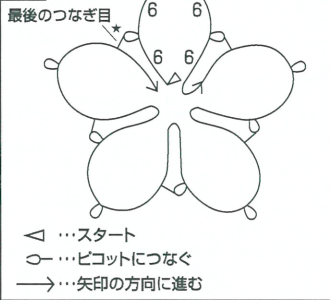
ブリッジを作るときの持ち方



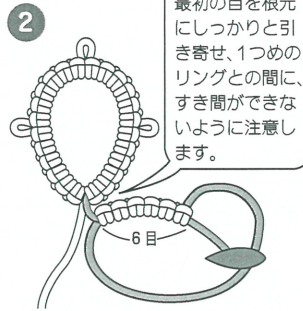
左手にかけた糸は輪にならず、糸玉につながっています。

4 ピコットのつなぎ方

例

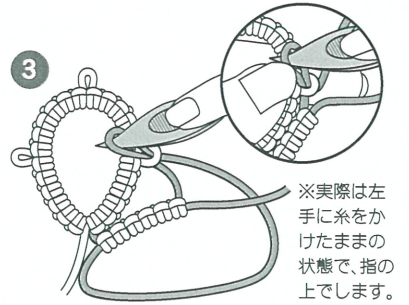


1つめのリングを左手でつまみ、シャトルの糸を図のように左手にかけて輪にします。

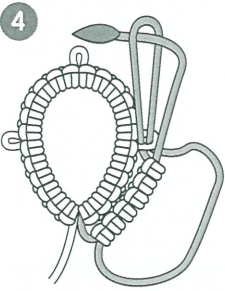


2つめのリングを6目編みます。

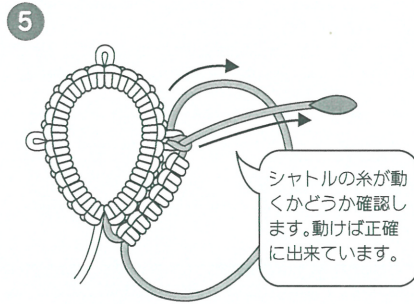
最初の目を根元にしっかりと引き寄せ、1つめのリングとの間に、すき間ができないように注意します。



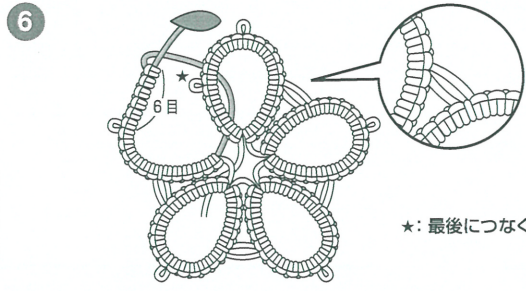
左手にかけた糸を、シャトルのツノを使い、ピコットから手前に引き出します。(ツノで糸を引き出しにくい場合、かぎ針を使います)



引き出したループにシャトルをくぐらせます。

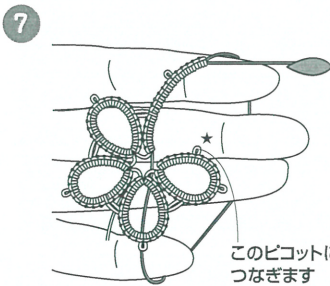


引き出したループを引き締めます。

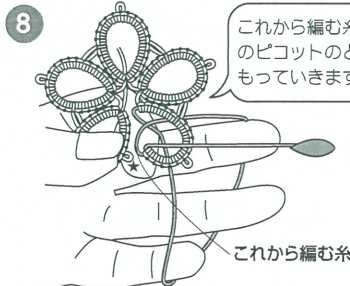


同じようにピコットをつなぎながら、最後のつなぎ目の前の目まで編みます。

★最初と最後のリングのピコットのつなぎ方

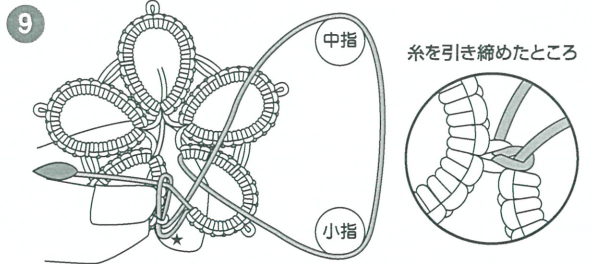


最後のピコットつなぎの手前まで編んだところです。

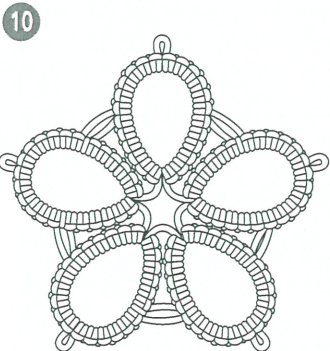


図の様に上下逆に持ち直します。

これから編む糸を最初のピコットのところにもっていきます。



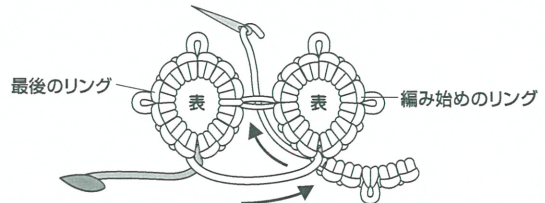
左手の糸を手からはずし、モチーフの手前を出してから左手に糸をかけたまま、シャトルのツノを使い、最初のリングのピコット(★)から左手にかけた糸を手前に引き出し、シャトルをくぐらせます。引き出したループを引き締めます。



残りの目を編み、糸を引き締めます。糸端を20cm残して切り、表側に出た糸端を裏側に引き出し、裏側でこま結びをします。糸の始末をして、出来上がりです。

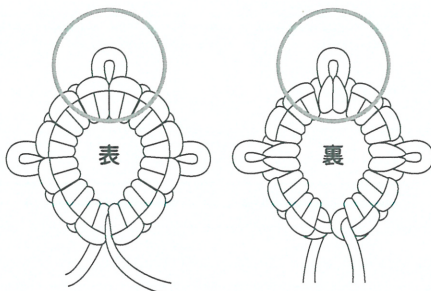
ポイント3 最後のリングを編み始めのリングにつなぐとき

最初のリングの編み始めに表から糸をとり針で通して裏側でシャトルの糸とこま結びをし、糸端を3mm残して切り、手芸用接着剤でとめつけます。



ポイント4

リングの表と裏
表か裏かの見分け方は、ピコットの根元の目の形を見て判断します。



ポイント5 こま結び

最後で糸端を結ぶときは、最後の編み目にできるだけ近いところでこま結びをします。シャトルの糸が足りなくなった時は、リングの終わり、またはリングを作る前に、新しい糸とこま結びでつなぎます。いずれの糸端も糸の始末用に20cm残しておきます。

